

このメールはCMアソシエイトにご登録いただいた方々へ配信しております。CMアソシエイトは、様々な立場でCMに関わりご興味をお持ちの方々に、幅広くCMAJや関連の情報発信やイベント参加の機会等を提供しています。身近に**関心をお持ちの方がおられましたら、[こちら](#)**のご案内をお渡し頂きますと幸いです！

◎新着トピックス

◆2023年度実施「CM業務市場調査アンケート」の結果が公表されました！

このアンケートは、2023年3月末において、CCMJ資格者を有する会社 全392社と、土木系CM業務の実態を把握するため、建設コンサルタンツ協会の協力を得て、同所属企業16社に送付しました。この内、39社から返送いただき、結果をCM協会WEBサイトで公開しています。

下記に結果の概要を記載します。

①CM業務売上高は増加・同等となった会社が約8割

②建築分野では、「生産・倉庫・物流施設」の用途が最も多く、2020年度から2023年度でCM業務売上高合計が2倍以上に増大している

③業務の受託段階は、基本計画や調査・測量段階等、設計着手前のプロジェクト数が約4割

④CM業務の普及において「担い手不足」が一定程度の障害になっているとの回答が、「設計事務所・積算事務所、CM専門会社」では9割を超える

⑤従来のCM業務の領域を超えた社会課題に対応する業務に注目する会社が多い

詳細は[こちら](#)からご覧ください。

◆第123回「CMAJフォーラム」のご報告

2024年1月22日に開催されましたCMAJフォーラムの様子を少しだけご紹介します。

今回は、建築家の山本理顕氏を講師にお迎えしました。『建築デザインとCM～山本理顕氏座談会～』と題し、山本氏の日本国内にとどまらず、世界的な大型プロジェクトを建築家の立場からマネジメントされているご経験をもとに、建築デザインとコンストラクションマネジメントの関係について最新プロジェクトの実例紹介などを交えながらご講演いただきました。

山本氏は先日、2024年のプリツカー賞を受賞され、建築の世界のみならず日本中のニュースで話題になりました。この賞は「建築界のノーベル賞」ともいわれています。

今回の受賞は、「建築を通じたコミュニティ創出」の観点が特に評価されたとされています。まさしく今回のフォーラムでも、山本氏からそのような切り口でお話いただきました。



写真：ディスカッションの様子

フォーラム後半で行われた山本氏とのディスカッションに参加された、Turner & Townsendの石田様にコメントを頂きましたのでご紹介します。

石田様：

フォーラム前半のご講演では参加者皆様が山本さんの話をのめり込んで聞いていました。時にユーモアを交えながら、建築家の視点で今の建設業界でのCMrの関わり方についてご意見をいただきました。第二部では座談会形式で私たちCMrとディスカッションし、山本さんのご経験は非常に勉強になりました。著名な建築家がCMについて話していただいたので、貴重な機会だったと感じました。

◎CMアソシエイトホームページのご紹介

◆CMアソシエイトページをリニューアルしました！

CM協会WEBサイトのCMアソシエイトページをリニューアルしました。

日々のCMアソシエイト活動がより皆さんに変わりやすくお届けできるようになっています。

ぜひ[こちら](#)から新しいページをご確認ください。

認証IDは定期的に変更になりますので、メルマガ最新号をご確認ください。

◆座談会動画を公開しています！

アソシエイト委員では、若手CMrと様々な建築に関わるエキスパートの座談会動画を公開しております。

最新の動画では、グラフィックデザイナーの廣村正彰氏をゲストとしてお招きし、「建築と人を繋ぐデザイン」をテーマにお話ししていただきました。

是非[こちら](#)からご覧ください！

【これまでの座談会動画】

第1回ゲスト 番匠カナナ氏（バーチャル建築家）

第2回ゲスト 安東陽子氏（テキスタイルデザイナー・コーディネーター）

第3回ゲスト 岡安泉氏（照明デザイナー）

第4回ゲスト 村上祐資氏（極地建築家）

第5回ゲスト 廣村正彰氏（グラフィックデザイナー）

